

令和4年度行政事業レビューシート (内閣官房)

事業名	児童相談体制整備事業費			担当部局庁	内閣官房副長官補	作成責任者	
事業開始年度	令和5年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	こども家庭庁設立準備室(福祉・保健政策担当)	参事官 山口 正行	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	-		
主要政策・施策	子ども・若者育成支援、少子化社会対策、男女共同参画			主要経費	その他の事項経費		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	児童相談所虐待対応・相談専用ダイヤルは、児童虐待を受けたと思われる子どもを見つけた時などに、ためらわずに児童相談所に通告・相談ができるようにするシステムである。これにより児童虐待の早期発見・早期対応につながり、もって児童虐待の予防、重篤化を防ぐ						
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	児童相談所虐待対応・相談専用ダイヤルを運用するために、各通信事業者において必要となる設備の保守等に係る経費及び携帯電話等からの着信についてオペレーターが対応するコールセンターの設置・運営に係る経費等を負担するものである。また、児童虐待を疑われる事案を発見した者が、ためらうことなく児童相談所に通告できる環境整備と、管轄児童相談所までの通告接続率の向上に資するため、虐待対応ダイヤルの通話料は無料としている。						
実施方法	委託・請負						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	263
		補正予算	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
	計		0	0	0	0	263
	執行額		0	0	0	-	-
執行率 (%)		-	-	-	-	-	
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		-	-	-	-	-	
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由		
	情報処理業務庁費		-	189	-		
	児童相談支援業務委託費		-	74	-		
	計		-	263	-		

活動内容 (アクティビティ)		児童虐待を受けた子どもや児童虐待と思われる子どもを見つけた近隣住民等がためらわずに児童相談所へ通告・相談するため、全国共通のダイヤルで電話を受け付け、管轄の児童相談所へ転送する。									
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込		
	児童相談所虐待対応ダイヤルを使用した児童相談所への通告等の増加	児童相談所虐待対応ダイヤルへの入電数に占める児童相談所への接続数の割合(接続率)。	活動実績	%	-	-	-	-	-		
			当初見込み	%	-	-	-	-	-		
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込		
	児童相談所虐待対応ダイヤルを使用した児童相談所への通告等の増加	児童相談所虐待対応ダイヤルへの接続件数(月平均)。	活動実績	件/月	-	-	-	-	-		
			当初見込み	件/月	-	-	-	-	7,989		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込			
	通信設備の保守等に係る執行額(x)／接続件数(y)	単位当たりコスト		円	-	-	-	-			
		計算式	x/y			-	-	-	-		
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績						
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
		児童相談所虐待対応ダイヤルを利用し児童相談所への通告・相談につなげる。	児童虐待相談対応件数に占める児童相談所虐待対応ダイヤルへの接続件数の割合	実績	%	-	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載									チェック		
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	こども・子育て支援の推進								
		施策	児童虐待等防止対策に関する施策の推進	政策評価書URL	-						
	取組事項	分野:	-	-							
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-								
		該当箇所	-								

事業所管部局による点検・改善

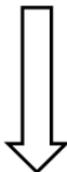
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	児童相談所での児童虐待相談対応件数は、年々増加しており、児童虐待と思われる事案を見つけた時などに、ためらわずに児童相談所に通告・相談ができるようにすることは、広く国民のニーズがある。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	児童相談所虐待対応・相談専用ダイヤルはきわめて公共性の高い事業であり、国において実施する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	児童相談所虐待対応・相談専用ダイヤルは、児童相談所への迅速な通告・相談につながることや適切な一時保護を実施するため、優先度が高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 </div>		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	-
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-	-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-
事業連	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-
点検・改善結果	点検結果	-		
	改善の方向性	-		
外部有識者の所見				
点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見				
-				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
-				
備考				
-				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度	-			
平成26年度	-			
平成27年度	-			
平成28年度	-			
平成29年度	-			
平成30年度	-			
令和元年度				
令和2年度				
令和3年度				

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

こども家庭庁
263百万円

児童相談所虐待対応・相談専用ダイヤルの運用にあたって
必要となる設備の保守等にかかる経費を負担



【随意契約（その他）】

A 通信事業者
189百万円

設備の保守



【一般競争入札（最低価格）】

B コールセンター
事業者
74百万円

コールセンターの
設置・運営一式

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
-	-	-	-	-	-
計		0	計		0
C.			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
-	-	-	-	-	-
計		0	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック